

【言語文化】

＜学習内容について＞

現代文・古文・漢文という三つの分野があります。このうち現代文では、明治時代以降の日本の小説・詩歌などを学びます。古文では、平安～鎌倉時代の日本語で書かれた説話・随筆などを学びます。漢文では、日本語に大きな影響を与えた中国古代の文章や漢詩を扱います。それぞれの文章を通して、日本の言語文化への理解を深めます。

＜教材について＞

教科書：「新編言語文化」（東京書籍）

学習書：「新編言語文化 学習書 令和7年度改訂」（NHK 出版）

＜レポートについて＞

レポートの回数は6回です。現代文編、古文編、漢文編の各単元の文章や資料を扱います。

＜学習の進め方について＞

レポートは、空欄がないように取り組みましょう。教科書を丁寧に読み、辞書や学習書を活用して解いてください。表現問題（作文など）を出題する回があります。自分の意見や思ったことを素直に表現しましょう。

＜スクーリングについて＞

スクーリングに出席しなければいけない時間は、3時間です。忘れ物がないように注意し、出席しましょう。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点を中心に総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

〔思考・判断・表現〕

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。